

CPD活動へのアンケート調査へのお願い

電気学会技術教育委員会CPD部会長
児玉孝亮

日頃は電気学会の活動へのご協力、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、お忙しいところ恐れ入りますが、電気学会で行っているCPD活動の説明を読んでアンケート調査にご協力ください
ますようお願いいたします。CPD活動活性化のために役立てたいと思います。

[直接アンケートへジャンプ](#)

CPD活動の説明

CPD活動を知っていますか。

【CPDとは】

近年、技術者を取り巻く環境は

- ・技術進歩のスピードアップ
- ・技術の多様化
- ・人材の流動化
- ・人材のグローバル化

が急速に進んでいます。

このような厳しい環境の中で、能力の高い信頼される技術者としてワールドワイドレベルで活躍し続けるために、いろいろ
な自己研鑽の場を活用して自分自身の能力アップに努めていると思いますが、その活動がCPD(Continuing
Professional Development)なのです。

【電気学会のCPD活動】

電気学会ではその活動を支援するために、全国大会、部門大会、支部大会、シンポジウムの開催を企画し、研究発表
会、研修会、講演会、見学会などの自己研鑽の場を提供しています。また、各人のCPD活動を見える化できるように平
成18年にCPDポイント制度を作り、他の学会とも連携してCPDポイントを記録管理するCPDシステムを提供してい
ます。

【電気学会のCPDポイント制度】

CPDポイント制度は、いろいろな自己研鑽活動にそれぞれポイントを定め、各人が自己研鑽活動を行うとそれに見合う
CPDポイントが与えられる制度です。電気学会では登録すればだれでもCPD登録会員になれます。CPD登録会員は
毎年一定ポイント以上のポイントを5年間継続して取得すると電気学会CPD認定技術者としての資格が与えられます。

【電気学会のCPDシステム】

CPDシステムは登録された会員のCPD活動を記録し、その記録をポイントで表現して見える化するコンピューターシ
ステムです。受動的に知識を取得する「知識領域」、能動的に活動する「実務領域」、委員会活動等の「貢献領域」に区
分けされますので、自分のCPD活動の傾向分析もできます。活動実績証明書を申請、発行することもできます。

電気学会のCPD登録会員は電気学会のホームページからCPDシステムに入ることができます。

また、記録内容が条件を満たせばこのシステムからCPD認定技術者の申請ができます。

【CPDの適用とアンケート目的】

市場がグローバル化する中でその競争力を支える技術者の技術力が各種の資格などで評価されようとしています。ア
メリカのPE(Professional Engineer)やアジア太平洋地域のAPEC(Asia Pacific Economic Cooperation)エンジニアは
CPDの登録をして一定以上のポイントを継続的に取得することが義務付けられています。国内でも政府調達の場合
では入札条件にCPD活動をしている技術者の人数などが問われることが広がりつつあります。

このような中で電気学会はCPDの重要性を認識してCPD普及活動に努めてまいりましたが、CPD登録会員の登録が進
んでいません。今回、このサービス活動を改善、普及させるには何をすれば良いか、その調査のためにアンケートを行
います。

アンケート調査

下記の質問に回答くださいますようご協力をお願いいたします。

(設問は問1から問18まであります。問17までは回答が必須な項目です)

問1: あなたの年齢を教えてください(あてはまるボックスをチェックしてください)

- A: 10代
- B: 20代
- C: 30代
- D: 40代
- E: 50代
- F: 60代
- G: 70代
- H: 80歳以上

問2: あなたのご所属を教えてください

- A: 研究機関
- B: 教育機関
- C: メーカー(製造業)
- D: ユーザ(電力、鉄道、ガス、情報・通信など)
- E: サービス業
- F: 学生
- G: シニア
- H: その他

問3: 自己研鑽をどのように進めていますか?(複数回答可)

- A: 組織内教育への参加
- B: 学協会教育への参加
- C: 民間教育への参加
- D: 大学の講座受講
- E: 遠隔教育(通信教育、e-Learningなど)
- F: 学協会活動(委員会への参加、論文発表など)
- G: その他

問4: ご自身の技術力、自己研鑽の度合いをアピールするためにどのようなことをしていますか?(複数回答可)

- A: 資格を取る
- B: 論文発表する
- C: 仕事の成果を出す
- D: 特許出願する
- E: その他

問5: 年間、自宅以外の自己研鑽活動にどの程度の時間をかけていますか?

- A: 0~20時間
- B: 20~50時間
- C: 50~100時間
- D: 100時間以上

問6: 年間、本などによる自己学習による自己研鑽活動にどの程度の時間をかけていますか?

- A: 0~100時間
- B: 100~300時間
- C: 300~500時間
- D: 500時間以上

問7: 自己研鑽活動をどのように記録していますか?(複数回答可)

- A: 学協会のCPDシステムに記録
- B: 組織の制度に従って登録
- C: 個人で記録
- D: 記録していない
- E: その他

問8: CPD (Continuing Professional Development)という言葉を知っていましたか？

- A: はい
- B: いいえ

問9: 電気学会にCPDポイント制度があるのを知っていましたか？

- A: はい
- B: いいえ

問10: 電気学会のCPDポイント制度についてどう思いますか？

- A: 役に立つ
- B: ある程度役に立つ
- C: 役に立たない
- D: わからない

問11: 他の学協会にもCPD制度があるのを知っていますか？

- A: はい
- B: いいえ

問12: 電気学会のCPD登録会員へ登録しようと思いますか？

- A: 既にCPD登録会員である
- B: 登録しようと思う
- C: いずれ登録しようと思う
- D: 登録しない 理由:
- E: わからない 理由:

問13: あなたがCPD登録会員になった理由を教えてください(複数回答可)
(CPD登録会員ではない方は, A: をチェックしてください)

- A: CPD登録会員ではない
- B: 資格更新に必要なため
- C: 電気学会CPD認定技術者になるため
- D: CPD活動実績を第三者にアピールするため
- E: CPD活動を記録するため
- F: その他

問14: 他の学協会のCPD登録会員になっていますか？

- A: はい
- B: いいえ

問15: 電気学会CPD認定技術者制度を知っていましたか？

- A: はい
- B: いいえ

問16: 電気学会のCPD認定技術者の資格についてどう思いますか？

- A: 既に資格を取得している
- B: 資格を取得しようと思う
- C: いずれ取得しようと思う
- D: 取得しない
- E: わからない

問17: 電気学会は他の学協会と連携して、研修会、講演会、見学会などの自己研鑽の場を提供しています。これについてどう思いますか？

- A: 役に立つ
- B: ある程度役に立つ
- C: 役に立たない
- D: わからない

問18: 自由意見

電気学会のCPD活動について改善に役立つと思われることを挙げてください。

A: 自己研鑽の場の提供について

B: CPDポイント制度について

C: CPDシステムについて

D: その他

上記内容でよろしい場合は、下記の「決定」ボタンを押してください。

決定

取消